# なは市民協働大学だより

2025

Vol 02

いよいよ今年もなは市民協働大学がはじまりました!今年度のテーマは、『話す!つながる!動き出す!こども・若者、みんなで、みんなのまちをつくろうーあなたの個性でまちを彩る』です。今年度のなは市民協働大学の様子をお届けします!

# 第2回講座 那覇市こども計画、こども権利条例について 那覇市のこども・若者を取り巻く現状について

7月31日(木)、なは市民活動支援センターにて、第2回講座を開催しました。講座では、今年度策定された「那覇市こども計画」、今年度制定予定の「那覇市こども権利条例」、そして、那覇市のこども・若者を取り巻く現状について学びました。また、那覇市で起きている具体的なエピソードと共に、那覇市として、こにも・若者の権利をどのように守っていくのか、そこに関わる大人や地域との関わりについて知るきっかけとなりました。







### ~講師より~



那覇市こどもみらい部 こども政策課 桃原 亮 課長

今年度、「那覇市こども計画」を策定しました。また、これからより"こどもの権利"が守られるよう「那覇市こども権利条例」の制定を進めていく予定です。今後、制定作業の中でパブリックコメントや子どもの権利を考えるシンポジウムを開催していく予定なので、ぜひご参加ください!



こども家庭センターなは 山城 忠信 センター長

虐待は、どの家庭でも起こり得ます。親が地域に相談できる人がいないことなど様々な条件が重なり、虐待へと繋がりますが、親自身も被害者のことが多く、児童虐待は社会の問題です。単に、こどもの意見を聞くだけでなく、表情などからも要素を汲み取り、地域の居場所など、こどもや親を孤立させないことが地域でできる支援になると思います。

# こども・若者が地域で健やかに成長し、 幸せを実感できるアイディア

後半は、「こども・若者が地域で健やかに成長し、幸せを実感できるアイディア」についてグループワークを行いました。

講師のお二人から「意見を言える子」「意見を言うことが難しい子」「自身が厳しい子」「自身が厳い子」ではことに気づいていることに気づいているがない。 など様々な立場にいる彼らの意見をどのように汲み取るかが大切であるとの補足をいただきました。その視点を踏まえ、今回も各グループからそれぞれ20を超えるアイディアが出されました。

年代も職種も異なる受講生が集まるなは市民協働大学という環境だからこそ、こどもの見守りや親のサポートの必要性、そして新たな視点を得られる貴重な時間となりました。









受講生の皆さんにご回答いただきました感想を一部抜粋して掲載させていただいております。



どのような支援が必要なのか、 また、一人ひとりの背景などを 様々な視点で見ることの大切さ を感じました。



こども計画、こども権利条例など、素晴らしい取組みや概念があるのに知らなかった。 情報を必要な人まで届けることの難しさと必要性を感じました。



子どもが幸せになれる社会につい って考えましたが、自分が前提とし ていることが当たり前のことでは ないことを実感しました。自分に 何ができるのか考えていきたいで す。



子ども・若者の視点をいれて、 仕事や日々の活動に取り組みた いと思いました。

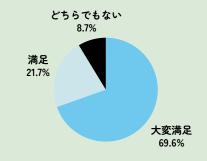


今学生だからこその意見を 言えたと思いました!アイ ディアに活かせるようにも っと考えを深めていきたい です!



今回は子供がテーマでした のでより興味深く受講させ ていただきました。 具体的 事例を聞かせていただき、 またみなさんとたくさんの アイデアを出し合い、受講 後もアイデアがとまりません!

#### ■ 満足度調査 回答23名



- **大変満足**(69.6%) 満足(21.7%)
- どちらでもない(8.7%)

もっと詳しく・・・!

## 書籍名 沖縄子ども白書 2022

著者 上間 陽子・川武 啓介 他5名







8月28日(木)18:30~20:30

講師:国場児童館 山崎 新 館長

内容: 『子どもとの地域づくりの

「はじめの一歩」を考える』

場所:なは市民活動支援センター

2階 会議室1



第2回講座お疲れ様でした!

今回の座学では、那覇市こども条例や子ども・若者を取り巻く現状等、難しい内容でした。それでも受講生の皆様が、様々なアイディアを出していたところに感銘を受けました。次回以降の講座でも、前向きに取り組んでいただければ事務局としても非常に嬉しいです。